

自然情報は「BOOK 愛ランド礼文」にあります。

E-mail: rebuncle@lilac.ocn.ne.jp

レブンクル自然情報

カラーで自然情報を「礼文島のHP http://www.h3.dion.ne.jp/ishida_h/index.htm」
「ゆうひの丘のHP <http://homepage1.nifty.com/seikanso/>」

レブンキンバイソウの咲く島

レブンキンバイソウはシベリア東部～ウスリー・中国・朝鮮北部に分布する花で国内では礼文島、それも桃岩歩道だけに咲きます。例年6月25日前後に見ごろの時期を迎え、今年もキンバイの谷は今は満開です。桃岩歩道を歩くとミヤマキンボウゲやセンダイハギ、チシマキンレイカと黄色の花の競演です。赤い花はハクサンチドリが終わりヨツバシオガマが咲き始めました。白い花はオオカサモチ、エゾノシシウド、オオハナウドが咲きそろってきました。薄紫色のチシマフウロもみごとです。礼文でしか見られない原生花の様子、じっくりと楽しみましよう。



レブンキンバイソウ礼文金梅草・礼文島6月



ポタンキンバイ牡丹金梅・利尻山・7月

礼文島のレブンキンバイソウの花びらに見える部分は萼片で、花びらはその内側の細長い物で雄しべよりも長いのが特徴です。

利尻島のポタンキンバイは山頂付近の雪溪の消えた跡に7月に咲きます。花びらは雄しべよりも短く、雄しべの先が赤みを帯びます。

早朝、夕方の観察会 (問い合わせ宮本)

礼文島自然クラブのメンバーが桃岩歩道と礼文林道を毎朝4時～7時、毎夕17時～20時。盗掘防止パトロールを行いながら、花や鳥の観察をしています。島民の方、観光客の方一緒に礼文島の自然を楽しみましょう。自然歩道で腕章をしている者を見かけたら気軽に声をかけて、花や鳥、礼文島の自然に関する話を聞きましょう。

お願い!

6月8日「高山植物盗掘防止パトロール中」ののぼり旗が1枚持ち去られました。どこかで見かけたら情報を下さい。

「ムーンライトin礼文」

6月28日、1800～香深郵便局前

「上弦の月を見る観望会」です。

苫小牧天文同好会の野田頭さんがご案内します。

問い合わせ6-1760野田頭。

新版

礼文 花の島花の道

宮本誠一郎・杣田美野里

北海道新聞社 発行

定価1155円

初版発行から6年、礼文島を訪れる人々の変化にあわせて、写真、イラスト、地図など内容をすべて一新しました。散策に注意すべき点など、地元に住む者の気持ちを表現しました。



「ベンサシの花園」の無惨な踏みあと。

桃岩歩道はレンキンバイソウがみごとに咲いています。残念なことにはキンバイの谷の木道の脇には大きな踏み込み跡が見られます。ヒオウギアヤメが無惨な姿で踏み倒されてしまっていることです。レンキンバイソウの写真を撮るために踏み込んだ人が無惨な状態にしています。

さらに残念な報告をしなければなりません。昨年も今年もロープを張って解放した「秘密の花園（ベンサシの花園）」地区も、ロープの外側に踏みあとが続いています。誰がつけた踏みあとなのでしょう。わざと踏み込んで道を造ってしまいました。雨天の中、歩いた者の仕業でしょう。どの団体でしょうか？目撃者はいませんか？花の素晴らしい姿を、皆に見てもらおうと解放しました地域が、このような踏みあとで花畑が失われて行くなれば立ち入り禁止にする以外に方法はありません。花畑の整備に協力して頂いた方々、この地域で花を楽しんだ方々、ぜひ「ベンサシの花園」の現状を見てください。踏みにじられた花々に何を感じるか意見を下さい。たとえ花が見たくても、道が悪かったら花を踏むよりも引き返すのが常識ではないでしょうか？

宮本誠一郎

星の子達よ、永久にまたたけ

人間がこの島に一人もいなかった時から、レンクスユキソウは丘にたっていた。空から降りた星の子のように、か細い体を風にまたたかせて、春の花のミヤマオダマキが花びらを散らすころ、ウスユキソウの蕾は膨らみ始める盛夏のハマナスが香るころ一人前の花となり、初秋にナデシコの花陰で実を結ぶ。ウスユキソウの旅は続く。寄せては返す波のように季節がめぐって島の少女たちが母になる時が来ても、輝く夏が健在でありますように。カモメの翼もウスユキソウの産毛も、気高く白くありますように。汚れなく蒼い海を背景にして。



花の島8
ウスユキソウの章
杉田美野里作品集

利尻の見える風景2
THE RISHIRI.2
宮本誠一郎作品集

「リシリ」はアイヌ語で高い山の島の意味。その名前の通りに山の姿は道北各地から見えます。サロベツの木道に寝そべっても遥か彼方に利尻を見ます。船で沖にでていても、そこにリシリが見えることで安心感が湧きます。原生花園の花々を見て、空のカモメを見てその背景には利尻があります。利尻富士の存在が私たちの脳裏には刻み込まれています。ああ利尻富士、その姿は雄壮であり、またふるさとの暖かみを感じさせる山です。



2001年5月自然日誌

- 1日曇り+0.3、風強い、利尻みえた。
- 2日曇1.8利尻みえた。キクイタダキ死体-大備鹿川。
- 3日曇2.1知床ベンサシ-アザラシ300頭。元地-ノゴマ。
- 4日晴+2.9。野鳥標識調査。ベニマシコ-高山須藤。
- 5日晴れ。野鳥標識調査。ニューナイスズメ。
- 6日雨+6.7。7日曇+6.4。カタツムリが道路を横断。
- 8日晴れ強風+5.4。ベンサシ-アザラシ200。
- 9日曇+3.7・ノゴマが庭にいた。
- 10日曇のち雨+2.7やませ寒い風9M。庭：ベニマシコ。
- 11日雨3.9。赤岩漂着ツチクジラ12m位。
久種湖ヒレンジャク、カワセミ、ピンズイ、キジバト、猛禽2種、ミヤマガラス64。
オオルリ-沼ノ沢道場。
- 12日曇10.3。ベンサシの花園：タカネグンバイ、ミヤマスマミレ、コキンバイ、エゾエンゴサク、キバナノアマナ、キジムシロ、ヒメイチゲ。13日晴9.0。
- 14日晴11.5強風9M。久種湖-水芭蕉、座禅草、ヤチブキ。大沢川-オオバナノエンレイソウ、ナニワズ。
- 15日晴12.0強風午後利礼航路欠航。
礼文林道・ミヤマハンノキ、エゾノバッコヤナギ、オノエヤナギ、ホソバコンロンソウ、キセキレイ。
香深井・ツツドリ声
- 16日雨のち晴7.9。風強。
- 17日晴一時雨8.3。利尻クッキリ。桃岩歩道エゾヒメアマナ、レンコザクラ、ハクサンイチゲ。
- 18日晴11.9。ベンサシ-イワベンケイ。19日雨11.9，
- 20日晴6.3。やませの森-クロウズゴ、トガスグリ。
礼文林道-アイヌタチツボスミレ、エゾイヌナズナ。
- 21日曇7.9。宇遠内クマゲラ、オオタチツボスミレ、コミヤマカタバミ、エゾイチゲ、センボンヤリ、ヒトリシズカ。
- 22日曇り6.7。一の沢エゾヤマザクラ開花。
礼文滝キバナシャクナゲ、キツネヤナギ。
- 23日曇一時晴9.0。花8時間ハヤブサ、アマツバメ、イソヒヨドリ、フデリンドウ、ハクサンチドリ。
- 24日晴8.5。礼文林道ミヤマハタザオ、ハマハタザオ。
手然ククバクワガタ。
- 25日晴5.9。鉄府アツモリソウ開花。
- 26日晴11.0。利尻クッキリ。盗掘防止勉強会。
- 27日晴れ6.3。利尻クッキリ。盗掘防止観察会-江戸屋キアシシギ、ノゴマ。鉄府-ヒメイズイ、マイヅルソウ、アオチドリ、クルマバツクバネソウ。
桃岩歩道カッコウ初鳴。
シメ交通事故死-遠別村上。
- 28日曇9.9風強。チゴモズ死体-内路・熊木一真。
- 29日雨11.1。兜沼ニリンソウ、エゾキケマン、オオバナノエンレイソウ。パンケ沼ハクサンチドリ、ミツバオウレン。サロベツ原野ヒメシャクナゲ、ショウジョウバカマ、ホロムイツツジ、ミツバオウレン。
- 30日晴-札幌29.5。
- 31日晴のち雨12.3。
稚内エゾセンニユウ。
幌延エゾハルゼミ、キクザキイチゲ。
サロベツ原野シマアオジ。